

病防第106号  
平成25年11月8日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、平成25年度病虫害発生予察注意報第3号を発表しましたので、送付します。

## 注 意 報

平成25年度病虫害発生予察注意報第3号

農作物名 トマト、ウリ科野菜  
病虫害名 タバココナジラミ

- 1 発生地域 冬春果菜類栽培地域
- 2 発生時期 11月中旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発生の根拠

- (1) 10月7日～15日に調査した冬春トマト6地点のタバココナジラミ寄生葉率は、3.0%で、昨年(0.0%)及び平年(0.7%：直近4カ年の平均)より高かった(図1)。
- (2) 9月下旬～10月中旬における八代市の野外に設置した黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数は、10.4頭で、昨年(8.4頭)及び平年(6.2頭：直近4カ年の平均)よりやや多かった(図2)。
- (3) 農業普及・振興課が9月後半から10月前半(八代市は9月中旬～10月中旬)にかけて調査した黄色粘着板へのコナジラミ類誘殺数は、熊本市、玉名市が平年、八代市が前年より多かった(図3)。
- (4) 11月1日に福岡管区気象台が発表した九州北部地方の気象予報によると、向こう1ヶ月の平均気温は平年並である。

### 5 防除対策

本年も県内各地でトマト黄化葉巻病やメロン退緑黄化病の発生が確認されている。タバココナジラミは、これらウイルス病の原因であるトマト黄化葉巻ウイルスやウリ類退緑黄化ウイルスを媒介し、感染を拡大させる。

- (1) ハウスの開口部(サイド、谷部など)に展張した防虫ネットは、隙間がないかどうか改めて確認する。
- (2) ハウス内に黄色粘着板を設置し、コナジラミ類の早期発見に努める。
- (3) コナジラミ類は日平均気温が10℃以下、または、日最高気温が15℃以下になる日が続くと野外での活動、野外からの移入が終息する。天気予報等で気温を確認し、終息後に成幼虫に効果の高い薬剤を使用し、ハウス内に定着しているコナジラミ類を徹底防除する。
- (4) ハウス内部及び周辺の雑草は、コナジラミ類の生息・増殖場所となるので、栽培期間中は定期的に除草する。

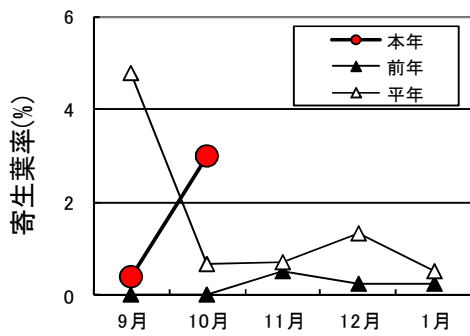


図1 冬春トマトにおけるタバココナジラミ寄生率

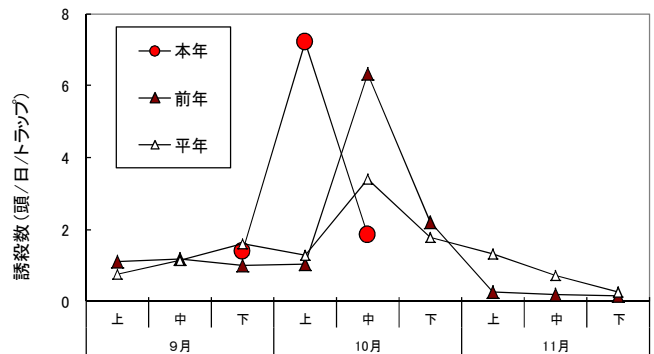
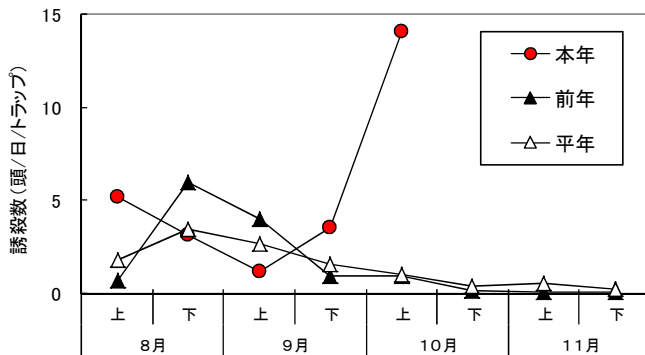
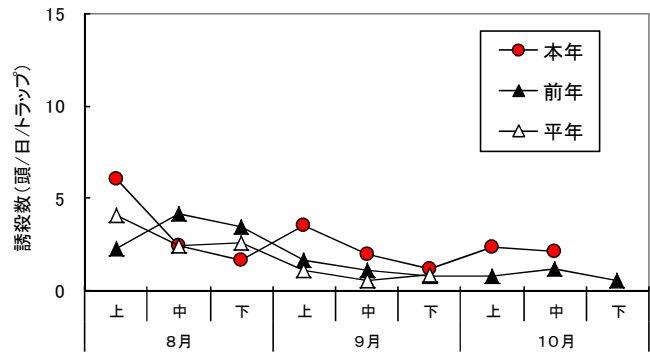


図2 八代市における野外コナジラミ類の黄色粘着板による誘殺数

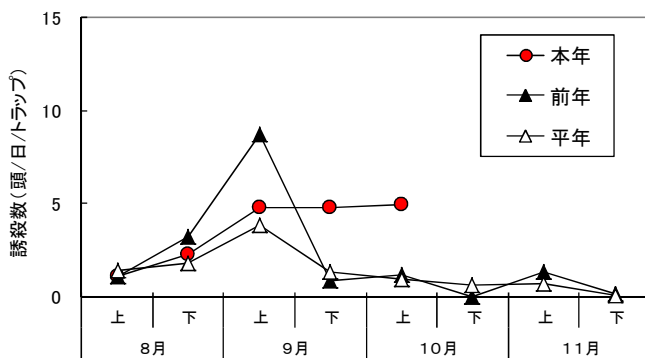
注) 黄色粘着板 (10cm×10cm) は、約5m間隔で3枚設置。



(熊本市)



(八代市)



(玉名市)

注) 各地域農業普及・振興課の調査データから作成。黄色粘着板は、1地点当たり1～2枚設置。

図3 各地域の野外コナジラミ類の黄色粘着板による誘殺数

問い合わせ先

熊本県農業研究センター

生産環境研究所(病害虫防除所)

児玉・荒木

TEL: 096-248-6490

e-mail: kodama-t@pref.kumamoto.lg.jp